

令和5年度 学校評価アンケート（保護者）～12月（後期）～
 評価4：よくあてはまる 評価3：あてはまる 評価2：あまりあてはまらない 評価1：あてはまらない

番号	質問内容	グラフ	評価4	評価3	評価2	評価1	
1	お子さんは、学校生活を楽しく送ることができている。		47.2%	41.7%	11.1%	0.0%	3年
			62.3%	28.3%	5.7%	3.8%	2年
			51.2%	31.7%	9.8%	7.3%	1年
2	お子さんは、学校の授業(学習)が分かりやすいと言っている。		11.1%	36.1%	44.4%	8.3%	3年
			24.5%	52.8%	15.1%	7.5%	2年
			22.0%	46.3%	22.0%	9.8%	1年
3	お子さんは、家庭で挨拶、返事、適切な言葉遣いができている。		36.1%	55.6%	8.3%	0.0%	3年
			43.4%	35.8%	17.0%	3.8%	2年
			34.1%	43.9%	17.1%	4.9%	1年
4	お子さんは、仲の良い友達がいる。		58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	3年
			71.7%	22.6%	3.8%	1.9%	2年
			78.0%	17.1%	2.4%	2.4%	1年
5	お子さんは、毎日宿題や予習・復習に取り組むなど、家庭学習の習慣が身に付いている。		36.1%	47.2%	11.1%	5.6%	3年
			56.6%	22.6%	18.9%	1.9%	2年
			34.1%	34.1%	26.8%	4.9%	1年
6	お子さんと学校の先生は、良い人間関係を築くことができている。		38.9%	47.2%	13.9%	0.0%	3年
			50.9%	35.8%	13.2%	0.0%	2年
			53.7%	39.0%	4.9%	2.4%	1年
7	お子さんが、家庭でインターネットやスマートフォン(携帯電話)等を使用するときは、ルールを決めて正しく使用している。		33.3%	38.9%	27.8%	0.0%	3年
			26.4%	37.7%	26.4%	9.4%	2年
			29.3%	43.9%	19.5%	7.3%	1年
8	お子さんは、服装や頭髪、持ち物など学校のルールを守れている。		52.8%	44.4%	2.8%	0.0%	3年
			71.7%	28.3%	0.0%	0.0%	2年
			65.9%	31.7%	2.4%	0.0%	1年
9	お子さんは、部活動の目的を理解し、意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)		63.9%	30.6%	5.6%	0.0%	3年
			71.7%	18.9%	7.5%	1.9%	2年
			65.9%	26.8%	2.4%	4.9%	1年

10	地域復興に向けた学校の取組は、子どものためになっている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	52.8%	44.4%	2.8%	0.0%	3年
			60.4%	35.8%	3.8%	0.0%	2年
			61.0%	31.7%	4.9%	2.4%	1年
11	先生方は、生徒をよく理解しようと、適切な指導に努めている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	30.6%	63.9%	5.6%	0.0%	3年
			50.9%	37.7%	11.3%	0.0%	2年
			41.5%	51.2%	7.3%	0.0%	1年
12	学力の向上に向けた取組は生徒のためになっている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	25.0%	63.9%	11.1%	0.0%	3年
			45.3%	52.8%	1.9%	0.0%	2年
			34.1%	51.2%	14.6%	0.0%	1年
13	先生は、生徒一人一人へ適切な指導・対応をしている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	30.6%	55.6%	13.9%	0.0%	3年
			56.6%	37.7%	5.7%	0.0%	2年
			43.9%	46.3%	9.8%	0.0%	1年
14	学校の、いじめやいじめ防止等の取組は適切である。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	27.8%	61.1%	11.1%	0.0%	3年
			45.3%	49.1%	5.7%	0.0%	2年
			43.9%	48.8%	7.3%	0.0%	1年
15	先生と、子どもや学校のことについて話がしやすい。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	47.2%	50.0%	2.8%	0.0%	3年
			50.9%	45.3%	3.8%	0.0%	2年
			53.7%	39.0%	4.9%	2.4%	1年
16	部活動顧問は、保護者との連携に努めている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	58.3%	38.9%	2.8%	0.0%	3年
			58.5%	22.6%	17.0%	1.9%	2年
			65.9%	22.0%	7.3%	4.9%	1年
17	学校の校舎内外や運動場は、教育活動に適した環境を整えている。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	30.6%	66.7%	2.8%	0.0%	3年
			60.4%	35.8%	3.8%	0.0%	2年
			51.2%	41.5%	4.9%	2.4%	1年
18	学校は、通信や便り、HP（ホームページ）等を通して、学校の様子を積極的に発信している。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	61.1%	36.1%	2.8%	0.0%	3年
			73.6%	24.5%	0.0%	1.9%	2年
			80.5%	17.1%	2.4%	0.0%	1年
19	お子さんは、野村中生として、誇りを持って生活している。	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1</p>	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%	3年
			50.9%	41.5%	3.8%	3.8%	2年
			48.8%	43.9%	4.9%	2.4%	1年

令和5年度 12月（後期） 学校評価アンケート結果分析（保護者）	
1、4	どの学年も概ね良好である。前期同様に1を付けている回答もあるため、人間関係に引き続き注視する必要がある。
2	3年生の数値が低い4と3の割合は増えている。学習意欲と進路実現とのほざまで受験勉強に苦勞している様子が伺える。教職員は、生徒の悩みをかみ砕いて、受験期を乗り越えられるよう手厚くサポートをしなければならない。
3	高評価を維持。3年の保護者で若干のダウン。継続した挨拶習慣と指導が必要である。
5	4の評価も前期と比べどの学年も上がっている。合理的な配慮等の視点も考慮されている。
6	高評価である。学校行事を重ね、前期よりも各学年ともに上昇。年度末に向けて、次へのステップアップへとつながるよう教職員も一丸となって生徒の支援を継続したい。
7	全体的な評価は上向いているが、各家庭のSNSや携帯電話の使用に関する心配や不安は依然として残る。ネット社会を賢く生きるためにも、保護者の見守りや決まりの徹底が最も大切である。学校においても、生徒がネット環境で悪影響を受けることのないように啓発を続ける。
8～13	学校生活全般を通して、素直で人懐っこく、真面目に過ごそうと努めていることがよく分かる。3年生を目標として、後輩も確かに心身ともに成長し、時期生徒会活動等、意欲を見せている。ホームページや学校行事、参観日等で学校の様子がよく分かったと高評価をいただいております。教職員、生徒、そして保護者が一体となって、健全な野村中学校を構築していきたいと考える。
14	高評価であるが日々の細やかな生徒指導体制を継続する。教職員では、学年部を中心に迅速な初期対応、関係諸機関との連携、事後の見守り等を心掛けている。前期同様に「生徒一人一人の個に寄り添った対応」を心掛けたい。
15～16	全体的に高い評価を得ている。1年生も学校生活に慣れ、身近な先生との信頼関係を構築し、教師との距離が近付いているように感じる。部活動等、保護者との連携が構築されてきているが、身近に起こり得るトラブルは、教職員間で連携を取りながら、生徒の健全育成に対してより良い方向へ進むよう努める。
17～18	校長先生を中心とした、ホームページ等への情報発信により、学校の様子を発信することに対して、高い評価を得ている。タイムリーでスピード感のある情報発信に対して、保護者より感謝のお気持ちをいただくことも多い。教育環境の整備については、引き続き、優先順位を付けて、安全・安心な学校生活を送れるよう努める。
19	最も注視したい項目である。落ち着いた学校生活、穏やかな交友関係、地域復興に向けた取組等、生徒自身が満足のいく教育活動により、生徒の自己肯定感が高まるきっかけとなっているように感じる。そのことは、家庭内においても話題として上がり、今回のような結果をいただいているのだと感じる。野村中生であることに誇りが持てるよう、保護者、生徒、関係諸機関、そして教職員が一丸となって、教育活動の充実に努めたい。
総	前期と比較すると、全体的にさらに高評価の結果となっている。依然として、「学校の授業が分かりやすい」の評価や「インターネット、スマートフォンの利用」の評価については、継続した対応が必要である。これらの話題に対する直接的な指導以外でも、「なりたい自分になり得る」ためには、努力や忍耐も必要である、ということをさまざまな角度から継続指導していくことが大切である。今回の結果を受けて、学校教育目標の具現化に向けた取組を一層丁寧に行い、生徒がより充実した学校生活を送れるよう努めたい。